土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　丹屋奥谷西川通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名　丹屋奥谷西川通常砂防事業に伴う業務委託

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor-No.3	**調査位置**	広島県福山市水呑町					**北緯**	34° 26′ 22.7489″
発注機関	広島県東部建設事務所			**調査期間**	2021年 11月 19日 ～ 2021年 11月 22日			**東経**	133° 22′ 11.7701″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 139.44m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 35°	**使用機種**	
総削孔長	4.00m							**エンジン**	ヤンマー　NFD-12

試錐機　東邦D1-B　　**ポンプ**　東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	139.24	0.20		礫混り砂		暗赤褐	rd2		新生代第四紀	崖錐堆積物。基質は粗粒砂でφ1.0～2.0cmの角礫を10%程度含み、礫はハンマーによる軽打で割れる。全体的に緩い。	
1				弱風化流紋岩		青黒			中生代白亜紀	弱風化の流紋岩。全体的に柱状であるが、GL-0.5～0.7m、1.6m、2.6m付近では高角な割れ目が集中し、割れ目に沿って岩片状となる。硬質であるが、ハンマーによる強打で割れる。所々に白色脈を高角に挟む。特に1.6m付近は白色脈に沿って流紋岩が変質しており、灰色を呈する。【CM級】	11/22 2.80
2											
3											
4	135.44	4.00									
5											

標準貫入試験

深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	N値
1.00	貫入不能			50/0			
2.00	貫入不能			50/0			
3.00	貫入不能			50/0			
4.00	貫入不能			50/0			

深度－N値図：0　10　20　30　40　50

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験	室内試験	削孔月日
					11/19
					11/22